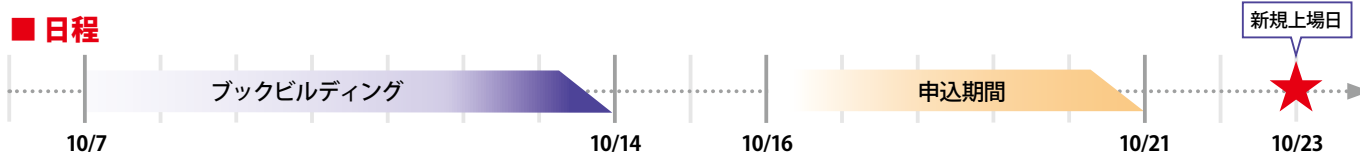


## IPO銘柄 GMOメディア (6180・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
6180	100株	公募: 39.60万株 売出: 7.28万株 (OA7.03万株)	2,500円~2,740円 (18.0倍)	大和証券



## ポイントサイトなど運営するGMOグループ企業

### ■ 事業内容

メディア事業、その他メディア支援事業を展開。メディア事業ではECメディア、ソーシャルメディアの2サービスがあり、ECメディアサービスはポイントサイトの「ポイントタウン」が主力。ユーザーはゲーム、クイズ、メールクリックなどで貯めたポイントを電子マネーや現金に交換できる。ソーシャルメディアサービスでは、ブログ、掲示板、メーリングリストなどソーシャルメディア・プラットフォームに掲載された広告に対して、ユーザーが表示、クリックを行うことにより収入を得ている。その他メディア支援事業ではメディア事業におけるノウハウ、システムを活用し、社外メディアの収益化を支援。アドネットワーク広告に関するコンサルティング、仲介のアドシンジケート、アフィリエイト広告のサービスプロバイダー事業であるAffiTownなどのサービスがある。15年12月期第2四半期累計（15年1～6月）の売上高構成比はメディア事業が77.7%、その他メディア支援事業が22.3%となっている。

### ■ 特徴

「ポイントタウン」は99年にサービスを開始しており、16年の歴史を持つ。ソーシャルメディアサービスでもブログの「ヤプログ!」や掲示板&チャットの「ティーカップ」など実績あるサービスを多く手掛けている。現在はスマートフォン対応を強化しており、各種サービスで10代から50代までの男女と幅広いユーザーを獲得している。月間ユーザー数は2,000万人を超える

## アナリストコメント

### ■ 定量分析

15年12月期の非連結経常利益は前期比16.8%増の3億1,800万円を計画する。ECメディアでアフィリエイト広告が好調。ソーシャルメディアもスマートフォンアプリへのユーザーの移行が進んだことで、アプリダウンロード数と利用者数が増加傾向にある。

### ■ 定性分析

ウェブメディアが主力でビジネスモデルには新鮮味がないものの、IPOマーケットにおけるネット株の人気は高い。親子上場案件は通常マイナス視されるが、これまでの上場案件のパフォーマンスもあってGMOグループは別。逆にポジティブな材料となりそうだ。

### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約15億円。吸収金額が極端に少ないわけではないが、GMOインターネットが発行済株式の7割を握っており、ベンチャーキャピタル保有株もない。公開株式以外の株券が市場に流出しづらい構造となっている。(小泉健太)

### ■ 類似企業

GMOメディア(6180・マザーズ)	予想PER18.0倍 (仮条件上限)
イード(6038・マザーズ)	予想PER20.8倍
セレス(3696・マザーズ)	予想PER27.9倍

### ■ 引受証券

大和証券、SMBC日興証券、野村証券、みずほ証券、いちよし証券、岩井コスモ証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
13年12月期(実績)	2,462	10.4	200	38.8	269	2.0倍	200.0	120.4
14年12月期(実績)	3,324	35.0	272	36.0	146	▲45.7	115.3	53.7
15年12月期(会社予想)	3,522	5.9	318	16.8	204	39.9	152.1	—

※ 15年8月に株式分割(1株→100株)を実施。13年12月期、14年12月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
13年12月期	14,728	1,408	786	262	620.0	55.9	34.2
14年12月期	14,728	1,796	780	262	615.0	43.4	18.8

※ 13年12月期および14年12月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	GMOインターネット	1,136,351	71.81
2	GMOメディア	203,636	12.87
3	森 輝幸	117,752	7.44
4	電通デジタル・ホールディングス	57,700	3.65
5	サイバー・コミュニケーションズ	7,400	0.47
6	石橋 正剛	5,000	0.32
6	別府 将彦	5,000	0.32
8	今井 裕史	3,300	0.21
9	夏目 康弘	3,100	0.20
9	冬野 和政	3,100	0.20

## 経営陣

役職	氏名
取締役会長	熊谷 正寿
代表取締役社長	森 輝幸
取締役 管理部部长	石橋 正剛
取締役 サービス開発部部长	別府 将彦
取締役	村尾 治亮
監査役(常勤)	塚本 和之
監査役	安田 昌史
監査役	谷口 誠治

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO<sup>(※1)</sup> レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング<sup>(※2)</sup> が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。